

第23回 ひきこもり(不登校)家族心理教育基礎編 ご案内

ひきこもり(不登校)は、一時的なものだと思っていませんか。ご本人は何らかの生きづらさを抱えていて、心が傷ついてしまって動けなくなっている場合もあります。

「そのうちに働けよう」と放っておいても解決はしません。親が解決を焦るあまり、叱咤激励すると「部屋から出てこない」「口を利かない」「昼夜逆転」に発展する場合や「家庭内暴力」につながるなど家族問題が深刻化することもあります。

ふらっとコミュニティでは、このような家族からの相談を「聴いて終わる」のではなく、2015年から「**家族心理教育基礎編**(6回プログラム) + **実践編**(1回/月)」でサポートしています。もちろん、必要に応じて個別面接も行います。

家族心理教育基礎編は、ひきこもりのメカニズムやご本人の生きづらさ、家族が本人とどう向き合い、声をかけたら良いのか、何が先回りなのかなど具体的に学び合い、親が変わっていくことをサポートする内容となっています。その後、ご家庭での様子を月1回の実践編で振り返り、助言によって学びを積み重ねていきます。そうすると「ドアが開いた」「返事をした」「生活音がするようになった」「暴言・暴力がなくなった」「何が苦しいか言えるようになった」「家では普通になった」「病院に行くようになった」など変化を起こしてきます。

現在、「家族心理教育実践編」は7グループあり、多くのご家族が毎月参加されています。さらに個人支援に繋がり、居場所への通所や就労を始めた方もおられ、成果を上げています。

最近では、この支援体制が全国から注目され、多くのマスメディアに取り上げられるようになりました。基礎編は不定期開催となっていますので、ぜひ、お早めに参加申込をしてください。

※対象：子どものひきこもりで困っている家族 **15家族程度**(先着順)

※支援者養成コースの方も同時に受講予定です。

※場所：不二輸送機ホール(山陽小野田市文化会館)

(山陽小野田市大字郡1754番地 JR厚狭駅新幹線口より徒歩3分)

※日程&内容：以下参照(すべて参加可能な方を優先します)

※対応：山口大学大学院医学系研究科 名誉教授 山根俊恵

※参加料：一人 25,000円(事前に徴収)

※テキスト(親も子ども楽になるひきこもり“心の距離”を縮めるコミュニケーション方法)及びその他の資料代等を含みます。

※既にテキストをお持ちの場合でも、参加料は変わりません。



第1回	R7.10.31(金) 10:00~12:00	子どもの生きづらさ、ひきこもりのメカニズムを理解しよう
第2回	R7.10.31(金) 13:00~15:00	「対話」のあり方について理解しよう
第3回	R7.11.1(土) 10:00~12:00	問題と感じる行動(暴力など)を分析し、対応方法を理解しよう
第4回	R7.11.1(土) 13:00~15:00	ポジティブコミュニケーションについて理解しよう
第5回	R7.11.2(日) 10:00~12:00	先回りをやめて、子どもとしっかり向き合う方法を理解しよう
第6回	R7.11.2(日) 13:00~15:00	これからの対応方法を一緒に考えよう (元ひきこもり者の話など)

問合せ先

NPO法人 ふらっとコミュニティ ひだまり

TEL 0836-21-1552 月~金 9:00~17:00 森坂・杉野・近藤・空野



後援：山陽小野田市